

しと云々、右は往昔の事にして、今山野を開發し、海澤を築出し、新田となるもの幾千万石といへるを不知、大上上國也と稱せしも宜なるかな、且四方運送の便よく、各國より來て貨財を交易、万邦比すべき地なし、誠に天府の國と云べし。

〔日本實測錄^二街道〕從東京東海道至西京

武藏國東京日本橋^三至深川^三黑江町^{即忠敬所居}三十五度四十二分半、一里一十九町八間^{至芝口一丁目一}

同芝大木戸 一十八町二十間、荏原郡品川宿 二里三十三町一十間^{至川崎宿六郷川岸二}

橋樹郡川崎宿三十五度三十二分半、二里一十九町五十五間^{至市場村七}、神奈川宿 一里二

十一町三十七間^{至保土ヶ谷宿帷子}、保土ヶ谷宿三十五度二十七分、二里一十九町四十九間

^{至國界二十七}、相模國鎌倉郡戸塚宿^略○中

從東京歷大山及御殿場至大月

武藏國東京芝口一丁目 二十八町二十八間、同赤坂傳馬町二丁目 一里三町五十七間、豐

島郡澀谷道玄坂町 二里二十一町八間^{至玉川岸二里一}、橋樹郡二子村 二里四町九間、都

筑郡荏田村 一里三十五町一十八間、長津田村 一里一十町二十七間^{至國界二十一}、相模

國高座郡下鶴間村

〔日本實測錄^三街道〕從東京中山道至草津

武藏國東京日本橋 四町一十間半、同本町 一十三町五間、同神田旅籠町^{歷坂本町至千住}

^{四十二丁}、二十一町三十間、東京駒込追分町 一里一十四町五十一間、豐島郡板橋宿平尾

九町二十七間、板橋宿 一里一十八町四間^{至荒川岸一里一}、足立郡下戸田村渡船場 二十

四町五間、蕨宿三十五度五十分、一里一十町三十四間、浦和宿 一里一十二町五十五間

大宮宿 二里六町三十五間、上尾宿 一里一町三十八間、桶川宿三十六度三十秒、一里三